

SHOSHO ISHIKAWAを活用した 企画展やイベントについて



- 1 「SHOSHO ISHIKAWA」の概要
- 2 ジャパンサーチ連携
- 3 SHOSHOの活用事例（企画展・イベント）
- 4 石川県立図書館にとってのSHOSHOの意義と展望

1

「SHOSHO ISHIKAWA」の概要

2

ジャパンサーチ連携

3

SHOSHOの活用事例（企画展・イベント）

4

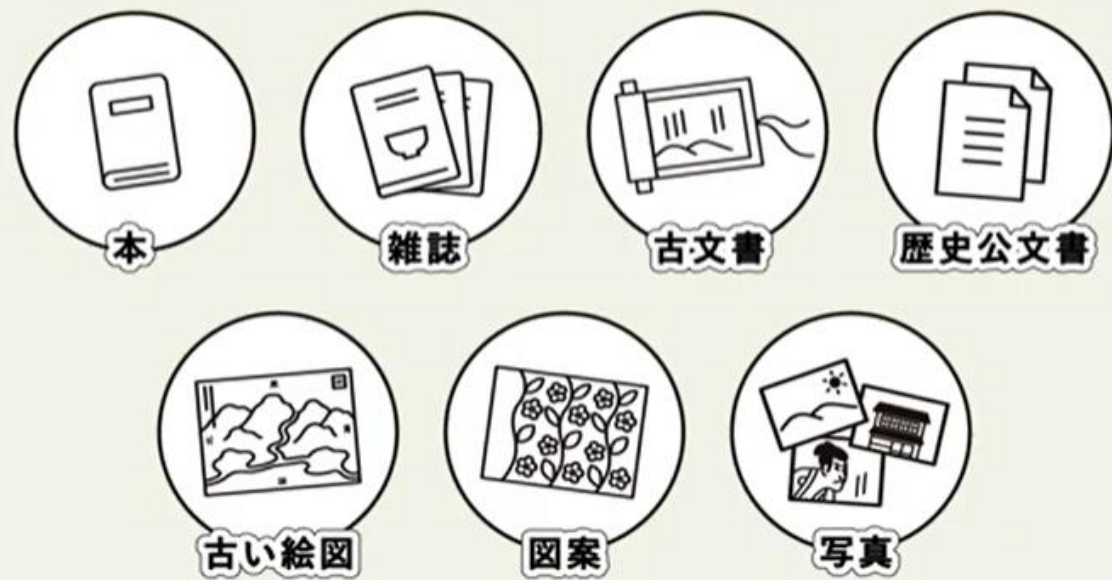
石川県立図書館にとってのSHOSHOの意義と展望

すべての図書(SHO)を紹介(SHO)します

SHOSHO ISHIKAWAとは？

⇒ 石川県立図書館の**総合検索システム**（デジタルアーカイブ機能）

SHOSHOで探せる資料の種類



当館の所蔵資料・情報を
一括して探すことができる

検索の中でも「**思いもよらない**」
情報との出会い

約**170**万点の資料・情報が検索対象として登録・公開
(雑誌記事索引等も含む) (令和6年度末時点)

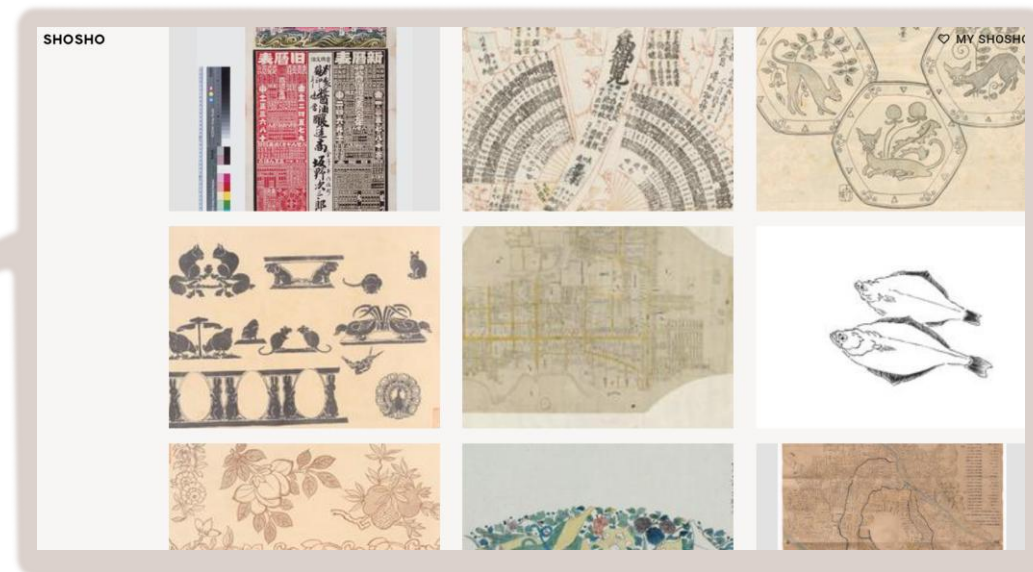
NTTデータが提供するデジタルアーカイブソリューション（AMLAD）を活用

AMLAD © NTT DATA Corporation.

● SHOSHOの主な機能

- ✓ 本・雑誌の検索
(通常の所蔵検索と連携)
- ✓ **デジタルコンテンツの閲覧・利用**
(古典籍資料に区分するデータがジャパンサーチと連携)

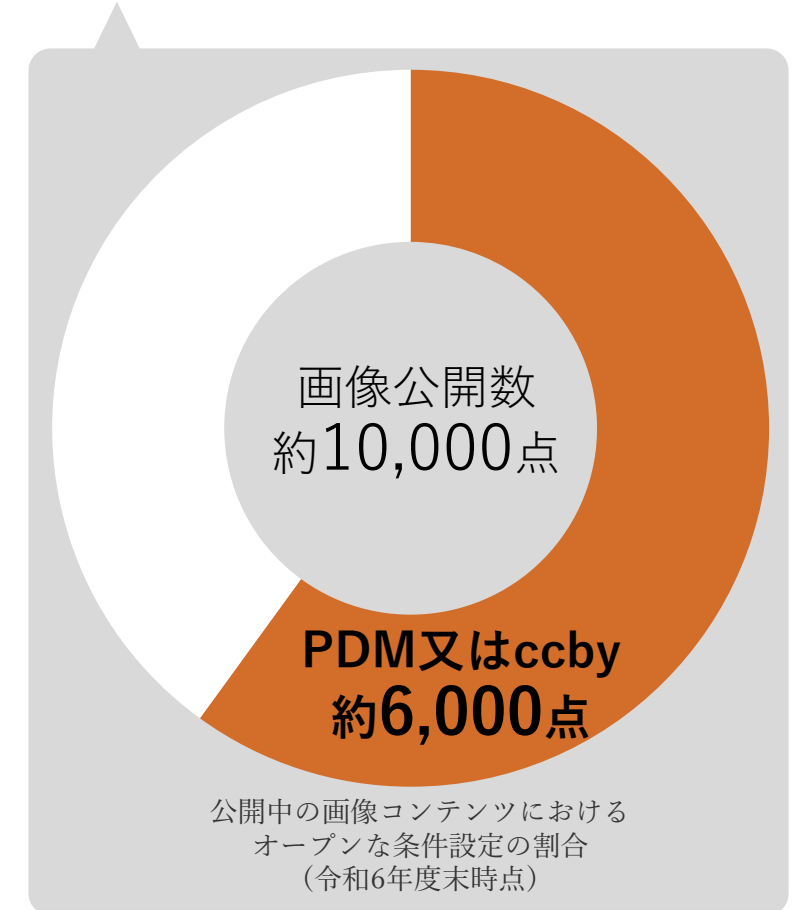
令和6年7月
連携開始



- ✓ 郷土の「新聞・雑誌」記事索引データベース
(従来の検索データベースを統合し、記事索引を検索しつつ、ほかの関連情報もまとめて検索)
- ✓ キュレーションページを作成し、テーマに沿った情報発信
(企画展アーカイブ、館内イベント連携 など。ジャパンサーチのギャラリーに似た機能)

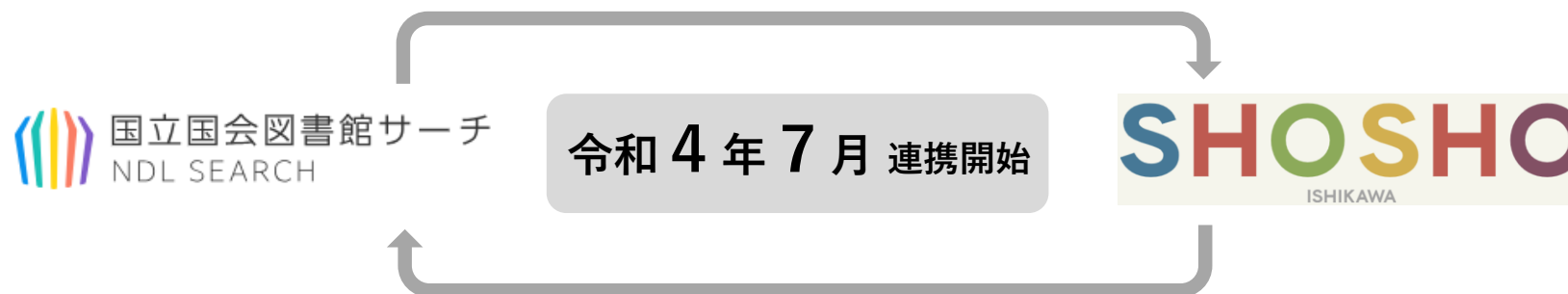
✓ デジタルコンテンツの閲覧・利用【詳細】

- デジタルコンテンツ（画像データ）の**大半にオープンな二次利用条件を明示**
- 公文書館機能のデジタルアーカイブも兼ねる
- ボーンデジタル行政刊行物も逐次収集（全文を閲覧利用可）
（二次利用条件を資料ごとに発行者に確認）
- 未デジタル資料の閲覧申請もSHOSHOから可能



- 1 「SHOSHO ISHIKAWA」の概要
- 2 ジャパンサーチ連携
- 3 SHOSHOの活用事例（企画展・イベント）
- 4 石川県立図書館にとってのSHOSHOの意義と展望

- NDLサーチとSHOSHOの連携



- ジャパンサーチとSHOSHOの連携



メタデータに加えて、サムネイルも共有
画像検索などでも発見可能性向上が期待

- 1 「SHOSHO ISHIKAWA」の概要
- 2 ジャパンサーチ連携
- 3 **SHOSHOの活用事例（企画展・イベント）**
- 4 石川県立図書館にとってのSHOSHOの意義と展望

百万石文化まんだら（2023.9.26～2024.1.21）

「いしかわ百万石文化祭2023」と連携した企画展

※「第38回国民文化祭」「第23回全国障害者芸術・文化祭」の統一名称

「藩政期からの加賀百万石の文化」と「復元整備が進む金沢城二の丸御殿」を紹介・解説



● 加賀藩とゆかりの文化人（解説パネル）

● 金沢城二之御丸三步碁之図（当館所蔵資料）

● 金沢城の成り立ち（解説パネル）

石川県の工芸文化を取り上げる中で、当館所蔵の**工芸図案**を活用したモノづくりイベントを実施

企画展示コーナーで実際に使用された解説パネル

SHOSHO ってなんだろう？



このマークのある資料は、石川県立図書館の資料検索サイト **SHOSHO** で画像データをご覧いただけます



SHOSHOは、石川県立図書館が所蔵する約160万点以上の資料の中から、お探しの情報をすばやく、カンタンに、楽しみながら見つけることができる「資料検索サイト」です。一部の資料は画像データもご覧いただけます。



ご自分のスマホからもSHOSHOにアクセスできます

百万石文化まんだら モノづくり体験

大正レトロ図案で作るかわいいコースター

竹または珪藻土のコースターに、レーザーカッターまたはUVプリンタで、レトロ図案のデザインを加工します。複数のデザインから自分の好きなものを選べます。

- 開催日時：展示期間中の水曜日・木曜日(15:00~18:00)と土曜日(10:00~16:00)
- 会場：モノづくり体験スペース
- 参加費：竹は無料、珪藻土は100円
- 所要時間：約20分
- 申込：事前申込不要 ※数に限りがあります
- 参加方法：① SHOSHOにアクセスして図案を選びます



② モノづくり体験スペースでコースターに加工します

SHOSHOにイベント用の特設サイトを作成し、デジタルコンテンツ（工芸図案画像）と連動していることを解説





コースター作りイベントの様子

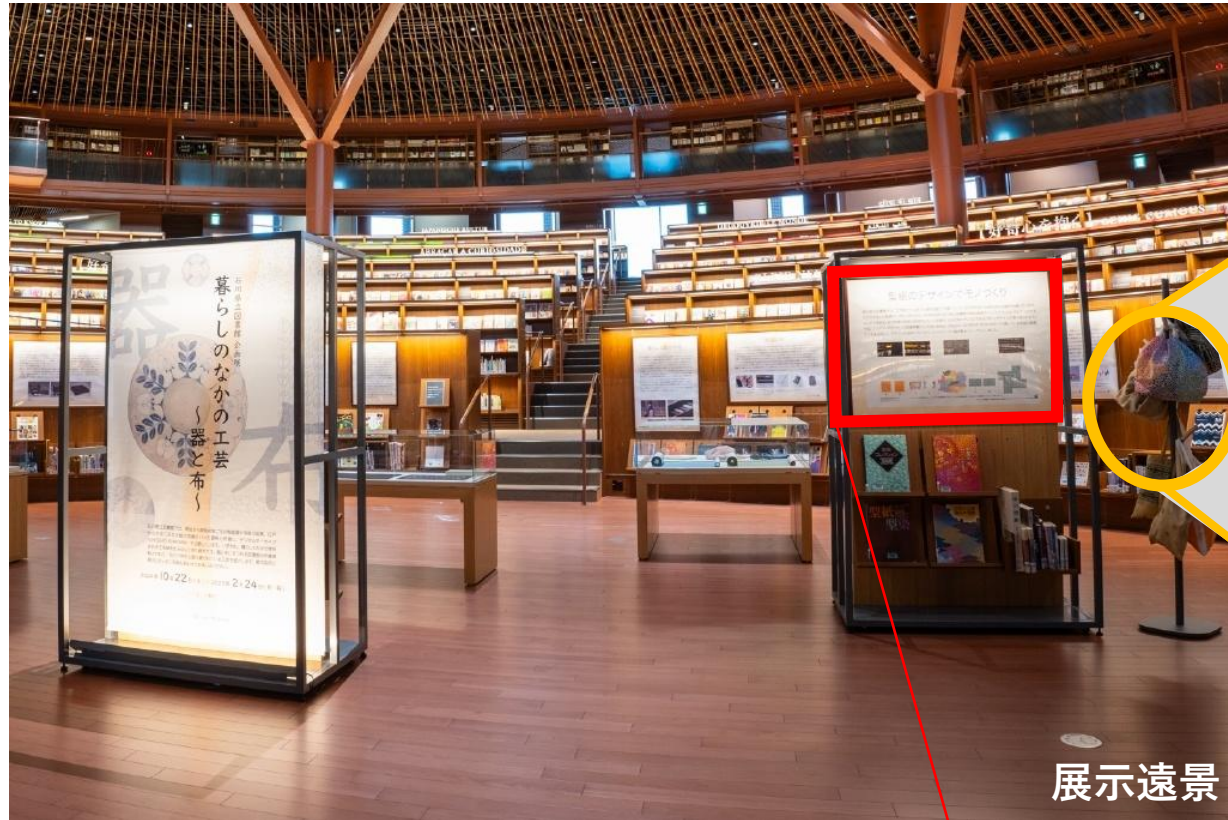


モノづくり体験コーナー
（同イベントの会場）

明治～大正の工芸デザインを体感しながら楽しめるイベントとして好評

暮らしのなかの工芸～器と布～（2024.10.22～2025.2.24）

器や布にかかわる工芸とそれに関連する食文化をあわせてとりあげた企画展

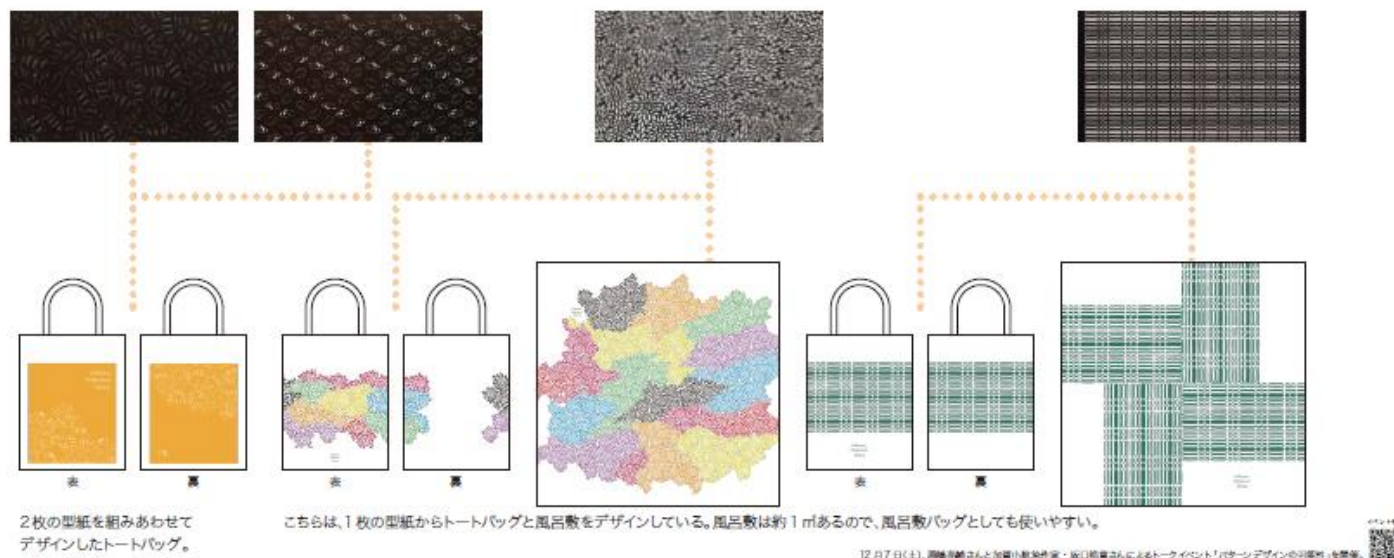


当初は販売を予定していたが、
利用者からの反響を受け、
販売を決定

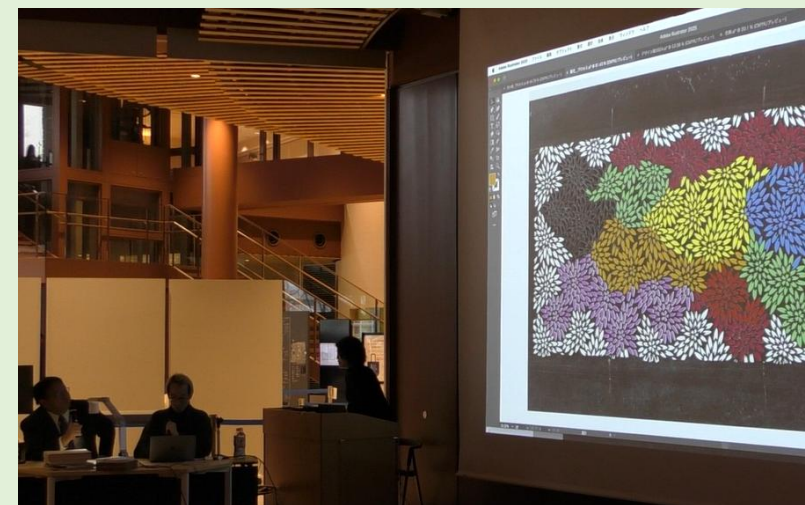
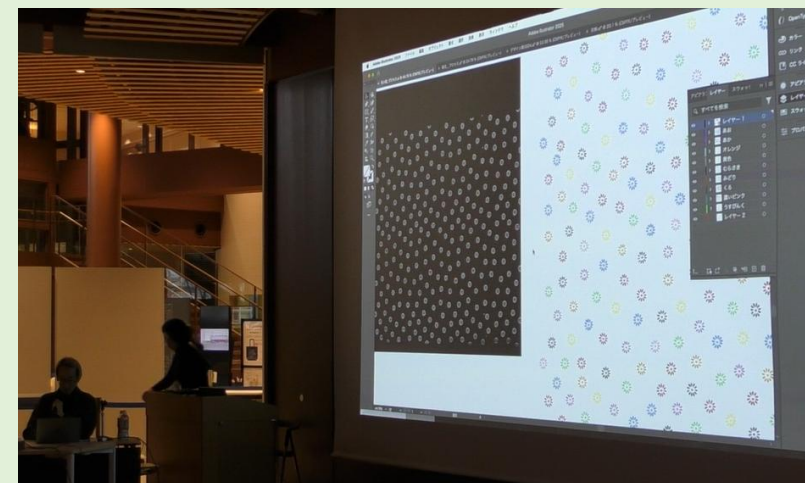
- 型紙デザインを活用した製品づくりの解説パネル

型紙のデザインでモノづくり

石川県立図書館では、江戸時代から続いた染め物屋が所蔵していた、600枚を超える染色用の型紙を所蔵しています。デジタル化した画像データは、SHOSHO ISHIKAWA(石川県立図書館の資料検索サイト)でダウンロードして活用することができます。主に加賀小紋染に使用されていた型紙で、さまざまにアレンジできるパターンデザインが多く見られます。今回、プロダクトデザイナーの原嶋亮輔さん(root design office)に、SHOSHO ISHIKAWAで公開している型紙の画像データを活用して、デザインを自由にアレンジし、トートバッグと風呂敷をつくってもらいました。



プロダクトデザイナー 原嶋亮輔さん (root design office) 協力



トークイベント「パターンデザインの可能性」

2024年12月7日（土）開催

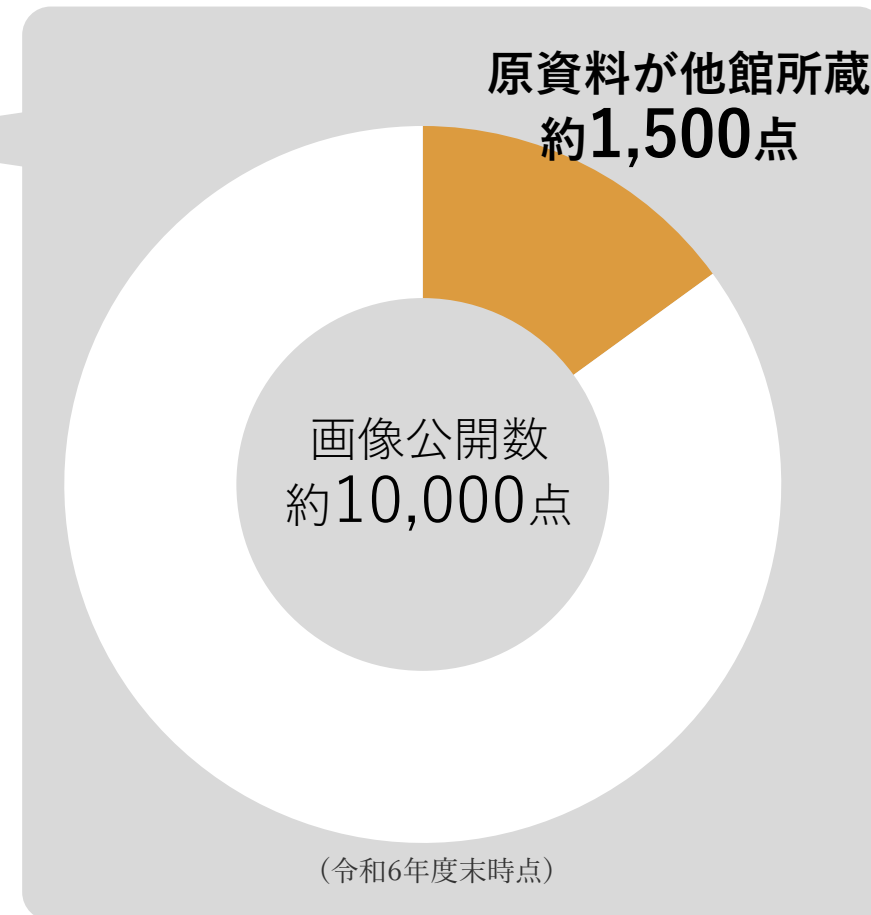
- 1 「SHOSHO ISHIKAWA」の概要
- 2 ジャパンサーチ連携
- 3 SHOSHOの活用事例（企画展・イベント）
- 4 石川県立図書館にとってのSHOSHOの意義と展望

市町図書館等のデジタル化資料の活用支援を見据えて

- 当館所蔵資料のデジタル化と公開は継続して進んでいる
一方、**SHOSHOの他機関連携は伸びしろが大きい**
- 市町図書館所蔵資料のデジタル化と公開を後押し
(**SHOSHOをプラットフォームとして提供**)

デジタルアーカイブ構築まで行くと予算・人員の確保が大変だが、
資料のデジタル化までなら相対的に容易

- 市町図書館等の所蔵資料の活用機会の増大



✓ 地域資料のデジタル化とその発信環境は整いつつある

(以下は、昨年度のNDL主催フォーラムにおける資料の抜粋)

テーマを「市町村における地域資料のデジタル化及びデジタルアーカイブ構築」とした背景

- 改正著作権法施行 = NDL [個人向けデジタル化資料送信サービス](#) の開始及び [未収かつ入手困難資料のデータ収集事業](#) の取組強化 (R4.5～7)
- saveMLAKによる [公共図書館でのデジタルアーカイブ公開状況の調査](#) (R4.7)
⇒ 1738館中、276館 (**15.8%**) でデジタルアーカイブを公開
- 47都道府県立図書館すべてがデジタルアーカイブを保有することに (R5.3)
- [改正博物館法](#) 施行 (R5.4) ⇒ デジタルアーカイブ作成公開及び地域連携が博物館の事業に ⇒ 各地でイベント: R5.12 ([石川](#)) / R6.3 ([日本博物館協会](#)) / R6.6 ([DA学会](#))

⇒ **①市町村の図書館のデジタル化及びデジタルアーカイブ構築、**

**②地域内の博物館や公文書館等との連携
が課題**

地域の情報ハブとして「SHOSHO ISHIKAWA」の活用をさらに進める

- 1 「SHOSHO ISHIKAWA」の概要
- 2 ジャパンサーチ連携
- 3 SHOSHOの活用事例（企画展・イベント）
- 4 石川県立図書館にとってのSHOSHOの意義と展望